



手のひら画像コンピュータのポテンシャルを探る

ラズパイで天体観測

新連載
第1回

赤外線対応カメラの可能性を知る

[ご購入はこちら](#)

望月 正継



写真1 今回の撮影ターゲット…冬を代表する星座
手持ちのデジカメを三脚に載せて撮影したもの

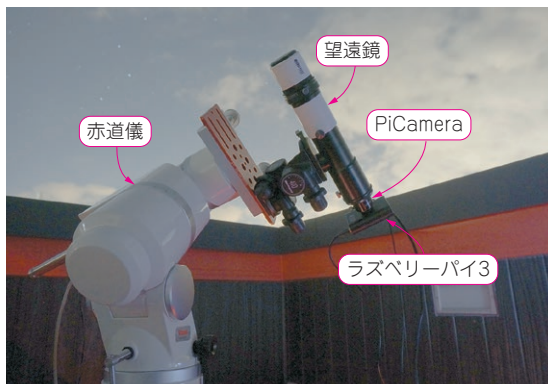


写真2 使用機材
赤道儀は天体撮影時の地球の自転の影響などを除いてくれる

本コーナーでは、天体撮影を通じて、カメラ・モジュールの使い方や実力、活用方法を紹介していきます。今回は赤外線対応カメラの効き目を確かめてみます。

● 撮影ターゲット

冬は天体写真の季節です。気温が低いのでイメージセンサーのノイズが少なくなります。夜も長いので撮り放題です。

冬を代表する星座といえば、2つの1等星を有するオリオン座です(写真1)。左上の赤い星がベテルギウスでオリオンの右肩に当たります。右下の青い星がリゲルで左足に当たります。その中間にあるのが三ツ星でベルトに相当します。ベルトの下にぼんやりと星が3つ並んでいるように見えます。小三ツ星と呼ばれオ